

# 令和3年3月第1回定例会

## 新年度予算はじめ41議案を審議

2月24日から3月15日まで

議

会

No.235



議会に対するご意見  
をお聞かせください。

電話

☎0269-82-3111  
(内線170)

E-mail

gikai@vill.kijimadaira.lg.jp

発行：木島平村議会  
編集：議会だより編集委員会

### 全会一致で可決した議案

承認	一般会計補正予算の専決処分 <sup>(※)</sup> 7,946万7千円追加 ※専決処分とは、緊急時で議会を招集する時間がないなど特定の場合に限り、村長が議会に諮らず執行することです。	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルスワクチン接種体制の準備を進めるための予算。</li> <li>12月以降の降雪による除雪対策費。</li> <li>ふるさと納税寄附金の積立。</li> <li>ふるさと納税の返礼品に対する経費。</li> </ul>
	一般会計補正予算の専決処分 716万5千円追加	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルスワクチン接種体制の準備に関わる、国の補助事業の追加。</li> </ul>
	国民健康保険条例の一部改正の専決処分	<ul style="list-style-type: none"> <li>法律（新型インフルエンザ等対策特別措置法）の改正に伴う文言の改正。</li> </ul>
条例 （一部改正）	一般職の職員の給与に関する条例	<ul style="list-style-type: none"> <li>後期高齢者医療広域連合（長野市）への職員派遣に伴い、新たに「地域手当」<sup>(※)</sup>を加える。</li> </ul>
	介護保険条例	<ul style="list-style-type: none"> <li>給付費の増額に伴い保険料率を改定。</li> </ul>
	指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例	<ul style="list-style-type: none"> <li>2件とも法改正に伴う改正。業務継続計画の策定、感染症予防やまん延防止対策、虐待の防止に関する基準が新たに加えられた。</li> </ul>
	指定地域密着型介護予防サービス事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護保険予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例	
	建設工事分担金徴収条例	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活道路以外の道路工事の受益者分担金が、工事費の60%となる。</li> </ul>
	水道条例	<ul style="list-style-type: none"> <li>3件とも延滞金について、税外収入金に対する手数料及び延滞金徴収条例を適用するように改正。</li> </ul>
	下水道条例	
	水道事業受益者分担金に関する条例	
奨学資金貸付金条例	<ul style="list-style-type: none"> <li>貸付対象となる学校を明確にするため、根拠法令を追加。</li> </ul>	
特別職の職員等の給与の特例に関する条例	<ul style="list-style-type: none"> <li>村長の給与を20%、副村長・教育長の給与を10%ずつ削減。</li> </ul>	
（制定）	村議会議員及び村長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例	<ul style="list-style-type: none"> <li>公職選挙法の改正に伴い制定。選挙運動用自動車の使用、ピラ及びポスターの製作費の公費負担について必要な事項を定める。</li> </ul>

\* 都市部などの物価の高い地域に勤務する職員の生活費の差を埋めるための手当

## 全会一致で可決した議案 (続き)

令和2年度補正予算(千円以下四捨五入)	一般会計 (▲1億6,196万円) 総額 46億62万円		・防犯灯修繕(8万円)、封筒用紙等(15万円)、ウェブカメラ更新(15万円)他 ・ほか各事業の精算を行い、不用額を減額。	
	特別会計	情報通信 (増8万円) 総額 6,626万円		・情報通信機器のある西庁舎の警備費を増額。
		後期高齢者医療 (▲210万円) 総額 6,256万円		・県後期高齢者医療広域連合への納付金の減額。
		国民健康保険 (▲3,305万円) 総額 5億3,308万円		・実績により医療給付費を減額。
		介護保険 (▲2,932万円) 総額 6億2,182万円		・実績等により給付費等を減額。他基金積立(1,000万円)
		小水力発電 (▲1,010万円) 総額 1,052万円		・当所の設計委託料のうち一部を次年度に送ったことに伴う減額。
		観光施設 (▲645万円) 総額 7,719万円		・スキー場の圧雪車の買取額が計画よりも減となったことに伴う減額。
		下水道 (▲870万円) 総額 3億9,066万円		・修繕工事の実績により不用額を減額。
高社簡易水道 (▲31万円) 総額 1,310万円		・使用水量の減に伴い使用料の減額を見込む。		
水道事業会計 (増120万円) 総額 8,253万円 (水道事業費用)			・消費税の確定に伴う増額。	
令和3年度予算	特別会計ほか	情報通信・学校給食・奨学金貸付事業・後期高齢者医療・国民健康保険・介護保険・小水力発電・観光施設・下水道・農業集落排水事業・高社簡易水道・水道事業	・予算の概要については、広報2～3ページをご覧ください。	
事件	村道路線の変更		・御殿南団地造成工事の完了に伴う路線変更。	
	気候非常事態宣言		・住宅の省エネ化、断熱化の推進、再生可能エネルギーの利用拡大などに取り組む。	
陳情	高校再編整備計画にインクルーシブ教育 <sup>(※1)</sup> システムを導入し、下高井農林高校を実践推進校の指定を求める陳情 (12月議会定例会で継続審査となった陳情)		・2件とも <b>継続審査</b> <sup>(※2)</sup> ※1：インクルーシブ教育とは、子どもたち一人一人が多様であることを前提に、障がいの有無にかかわらず、誰もが望めば自分に合った配慮のもと、地域の普通学校で学ぶことです。 ※2：継続審査とは、会期中に結論が出ず、引き続き、内容の調査、検討を行うため、閉会中も継続して審査を行うことです。	
	「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情			

## 賛否の分かれた議案

令和3年度 一般会計予算	議 員 名									採決の結果
	山崎 栄喜	山浦 登	山本 隆樹	芳川 修二	丸山 邦久	勝山 卓	土屋喜久夫	勝山 正	江田 宏子	
	○	×	○	×	×	○	○	○	○	可決



起立採決の様子

■表の説明：○賛成(起立)・×反対  
(議長は議決に参加しないため、議員名から外しています)

# 令和3年度一般会計予算に対し 5人の議員が討論

## 【反対】



丸山議員

丸山 邦久 議員  
村は山積する問題や課題を何ら解決することなく、先送りしている。

特に耳目を引いている観光行政。村は令和2年度に木島平観光(株)に対し1億1163万5千円の援助をしている。しかし、観光(株)の経営状態は令和2年5月の現金有り高7千万円余りから、予想値ではあるが、令和3年5月には4800万円余りとなり、業績は下降の一途を辿っている。

一般質問で村長は私があたかもスキー場の廃止を望んでいるような発言をしたが、私はそのようなことを望んでいない。むしろ逆だ。先日も県の補助金5千円を利用してパノラマランドに宿泊したが改革・改善は進んでおらず失望した。これだけの危機に思い切った変革ができないようでは、もう先が見えてしまったと断言できる。これだけの金額を納税するのにどれだけ多くの人が汗を流し、血のにじむような苦勞をした結果か考

えてほしい。この国がもつと良くなるようにという思いで納税している人々に向かって胸を張ることができませんか。

令和3年度一般会計予算には観光(株)に対する1億円の損失補償が含まれているが、身を切る改革なしに、つけを村民に回すようなもので到底賛成できない。

## 【賛成】



勝山議員

勝山 正 議員  
令和3年度一般会計他12会計予算は、役場庁舎の完成や社協への補助等大規模事業を終え、予算総額が前年度に比べ2億4949万8千円減の53億8896万7千円が計上されている。

介護予防を一体的に行う「高齢者健康づくり事業」やUターン者への新築・増改築の補助、コロナウイルスワクチン接種に向けた取り組みなどの新規事業、また、今年度新たに採用を予定している地域おこし企業人や、地域おこし協力隊の採用なども計画されている。それぞれの所管課において、多くの事業(継続事業含む)施策が取り生まれ、村民が安心・安全に生活ができるよう配慮されていると思うが、喫緊に取り組まなければ

ならない事業が山積している。

新型コロナウイルス感染症の収束が見えない中、農業・観光に限らず今後最も厳しい経済状況が続くものと予想される。事業執行に当たっては村民の要望、期待に十分に応えるよう適正に執行されることを望み、賛成の討論とする。

## 【反対】



山浦議員

山浦 登 議員  
令和3年度予算に反対する理由は次の4点である。

①令和3年度予算編成方針では、「徹底した事業の見直しと経常経費の削減を図る」としているが、実質的削減額は500余万円。村の将来を財政面で考察すると、より一層、事業内容の精査と経費削減が求められる。

②令和3年度新型コロナウイルス対策計画を見ると、若者センター研修室床張替え工事に110万円が予算化されている。

この工事は、災害の際の避難所として使用するためとしているが、そのことにより、今後の会議は上履きに履き替え入室する必要があると聞いている。部屋の利便性等を考えると、災害避難時に敷物を敷くことの方が

現実的な対応であると考ええる。

生活に困難を抱えている村民の立場に立ち、現状をしつかり把握し、不安を払拭する支援策を講じることが重要である。温かく血の通う村政の姿勢からこそ村民が信頼を寄せる村になるはずである。予算にはそのような視点が欠けていると思われる。

③財政調整基金の令和3年度の基金残高見込み額は21億4700万円である。平成30年基金残高29億円から年々減少している。

平成29年「木島平村公共施設等総合管理計画・公共施設個別計画」によると、現存すべての施設を維持し、更新、建て替えを実施した場合、必要な費用は今後40年間で年平均4・8億円と試算されている。

将来の事業を展望する中でしっかりと財計計画が必要である。

その意味で今年度予算は、再検討を要すると考える。

④木島平観光(株)の経営については、厳しい情勢のもと、経営向上に努力されている関係者に敬意を表したい。

村は、指定管理、経営支援を継続するにあたり、計画性と透明性を明確にして支援のあり方、支援方法の再度の検証・改善する必要があると考える。

【賛成】

江田 宏子 議員



江田議員  
でいかに効果を  
上げる村政運営  
をしていくか、

予算編成にあたり、事業の取捨選択に大変苦慮されたことと思う。

目標達成や課題解決に向けては、前年踏襲ではない「事業の見直し」や、財政健全化に向けた「行財政改革の工夫」が求められ、職員の皆さんの知恵と熱意に期待する。

議決にあたり、すぐに執行すべき予算もあることから、大枠は賛成しつつ、懸念される点として委員会や審査意見等で指摘のあった事業はじめ、不要不急の事業等について、必要性も含め、改めて熟慮・再考の上、見直すべきは見直し、より良い判断をされるよう望む。

なお、「債務負担行為」として、木島平観光(株)の金融機関からの借り入れの際の損失補償について、反対意見もあるが、金融機関から融資のための必要枠として、これまでも同額の枠が設定されていた。

新型コロナウイルスにより、客足の回復が不透明な中、借入額の判断は慎重にすべきだが、融資を受けられなければ会社運営ができず、これ

までの村の貸付金も返済されないことが想定される。

そのため、中長期的な視点から、損失補償の枠は認めたい。

なお、金融機関からの借入れにあたっては、村もリスクを背負うことから、適宜議会への説明を求めたい。

さて、財政の大きな負担となつている要因のひとつに、公共施設の維持管理費や、施設老朽化等による修繕費がある。個々の施設の今後の方針については、議会からも再三「個別施設計画」の策定を求めているが、早急に、比較資料やたたき台を示し、村民理解を得ながら、財政負担の軽減を図っていくことを強く望む。

また、基金の取り崩し額が多いことも、持続可能な財政運営の面で、心配されるところであり、事業の精査や補助金等の活用など、慎重な対応が求められる。

以上、懸念される事項に留意していただくとともに、財政は厳しいながらも、「活力ある村づくり」「より暮らしやすい村づくり」をめざし、着実に歩みを進められるような「村長のリーダーシップ」および「熱意・想像力(創造力)等を発揮できる職員体制の構築と人材育成」に期待しつつ、賛成討論とする。

【反対】

芳川 修二 議員



芳川議員  
令和3年度  
予算案は、総合  
振興計画、地方  
創生総合戦略、  
財政計画に沿つ

て編成したとあるが、昨年12月議会で提案された財政計画では、令和7年度末の基金残高は、約7億8千万円の計画とのことであった。

令和3年度予算案では、財政調整基金からの繰り入れで約1億9600万円、過疎債で約1億9400万円が計上されており、この状態が今後も続くことは、将来につけを回すことになり、容認できるものではない。

また、令和3年度予算に充当される財政対策債は、真に必要な場合に備え蓄えたものであり、安易な取り崩しは厳に慎むべきものである。

償還時に交付税措置される有利な起債であっても、一般財源的に活用するのではなく、将来に大きな発展の可能性を持った村であり、村の持続的発展に視点を定め、当面の大きな課題である問題の解決と過疎からの脱却、すなわち人口減少と地域経済の低迷から脱却するための投資的経費を優先して、有効に活用すべきである。

令和3年度予算案は、削減してもよいと思われる経費が計上されており、将来を見据えての予算編成とは感じられない。

新型コロナウイルス対策については、感染の防止対策やワクチン接種等の確な対応は当然であるが、経済の活性化も重要な課題である。

国からの地方創生臨時交付金の活用は、使い道に縛りはあるとしても、しっかりと実態を把握し、村民に寄り添ったきめ細かな対策が必要と考える。

村が示した案では、実態を把握し、村民に寄り添ったきめ細かな工夫を凝らした対策となつていないと受け止めがたい。

村は、まさにこれまでに経験したことのない事態の中で、しっかりと状況を把握するとともに、不要不急の事業の見直しと、必要に応じて蓄えた基金を取り崩しての財政出動等も視野に置きながら、コロナ禍の村民生活を護り支援する必要があると考える。

村長には、考えている、検討するというだけでなく、村の抱えている課題に真摯に向き合うとともに、真に村民に寄り添い、村の存続と発展のために、的確な判断と速やかな対応を求め、反対討論とする。

## 「12月議会の審査意見」に対する 村の対応

(趣旨抜粋)

令和2年12月第4回議会定例会  
で出された「審査意見」に対する村  
の対応の報告です。  
(2月24日本会議

「諸般の報告」より)

### 総務民生文教常任委員会

**意見** 新型コロナウイルス対策に取り組ま  
れているが、感染拡大を防ぐ  
ため、保育園から介護施設ま  
で早めの対応が肝要と考えら  
れる。保健所機能は県である  
が、衛生担当と緊密な連携が  
できるよう県に求められたい。

**対応** 早期対応が行えるように、  
北信地域医療・介護連携関係  
者連絡会等において、市町村  
への情報提供を含め北信保健  
福祉事務所との連携を図って  
きている。

今後に向けて、北信保健福  
祉事務所から、北信圏域での  
感染拡大時に保健師の応援派  
遣について協力依頼がきてお  
り、その中で、衛生担当者レ  
ベルのより緊密な連携ができ  
るよう図っていきたいと考え  
ている。

## 予算決算常任委員会

**意見** インターネット接続環境の  
整っていない児童生徒の家庭  
にWi-Fiルーターを貸し  
出すための予算が計上されて  
いる。貸出規程を整備され、  
接続可能家庭との公平感を確  
保するとともに、通信費が過  
大な負担にならないよう、細  
心の配慮をされたい。

**対応** インターネット環境が整っ  
ていない児童生徒のオンライ  
ン学習を支援するため、「木  
島平小・中学校学習用モバイ  
ルルーター貸与事業実施要綱」  
を作成した。

ルーター機器の貸与は無料  
だが、接続可能家庭との公平  
感を確保するため、通信料の  
負担をお願いしたいと考えて  
いる。  
貸与にあたっては、経済的  
に厳しい状況にある世帯等を  
優先することとし、「木島平  
村要保護及び準要保護児童等  
就学援助費支給要綱」を活用  
し、オンライン学習通信費の  
一部を支給することで、保護  
者負担の軽減を図りたいと考  
えている。

## 3月定例会 審査意見

### 予算決算常任委員会 14件

① スキーリフト使用料が、覚書の  
もと収受されてきた。補正予算  
100万円減免は、今シーズン  
のリフトの収益から鑑み、疑問  
である。会計の独立性を保つた  
め、減免は再考されたい。

② 木島平観光株式会社は債務負担  
行為1億円が計上されている。  
村貸付金含め、監査委員から関  
係書類の整備が求められており、  
村として信用失墜とならないよ  
う至急対応されたい。

③ 定年引上げ関係例規整備支援業  
務の予算が計上されているが、  
定年引上げは国に先行する事な  
く、村民の理解が得られるよう  
考慮されたい。

④ 農林高校との連携強化をめざす  
人材の配置を予定されているが、  
農林高校の意向を重視されたい。

⑤ 情報通信施設が村直営となるが、  
NTT光回線の村内敷設が現実

的となる中、今後の情報通信事  
業のあり方を十分検討し、財政  
負担に配慮されたい。

⑥ ふるさと応援団・調布・木島平  
交流クラブ会員への宿泊費補助  
事業が予算化され、観光振興局  
での取り扱いを想定している。  
宿泊施設への配分が最大となる  
施策が重要であり、運用方法を  
再考されたい。

⑦ 敬老祝い品の予算が社協から村  
対応に変更され、村のみでの敬  
老祝賀訪問となるが、今後も村  
民と社協の関わりが減少しない  
よう、村としても尽力されたい。

⑧ ゴミ分別アプリ(※1)の導入を  
計画されているが、各家庭等の  
廃棄物処理の実態を把握し、導  
入の必要性を再考されたい。

⑨ 若者センター研修室の床張替え  
が計画されているが、避難所機  
能、衛生面等に充分配慮し、施  
行されたい。

⑩ 小中学校に配備したタブレット  
リース料が年額500万円に及  
ぶ。予備として配置する金額と

しては膨大すぎる。反面、総務費の用紙類の費用は増大している。ペーパーレス化を見据え、全庁的にタブレットの有効活用を検討されたい。

⑪道路草刈機の修繕に700万円余が計画されている。修繕費としては膨大であり、農業振興公社に配備した除草機械の活用等も想定できる。限られた予算で最大限の効果が得られるよう配慮されたい。

⑫地域おこし企業人の観光振興局への導入が計画されている。第三セクターや包括連携協定した企業等と連携して、真に村民経済の向上に資するよう調整されたい。

⑬観光振興局の業務を村職員が代行している印象が強い。行政から独立して、民間感覚で村内経済を連結すべきであり、組織目的を達成できるよう指導されたい。

⑭新規にUターン住宅補助金を計画された事は評価するが、実施にあたっては、交付対象者など事業内容を精査した上で実行されたい。

**総務民生文教常任委員会**

**3件**

①村体育館の耐震工事が計画されているが、避難所にも指定されている施設であり、関係機関との調整に遺漏の無いよう配慮されたい。

②木島平村気候非常事態宣言が上程されているが、村民の行動指針として実効性を担保されたい。

③学習用モバイルルーター(※2)の貸付事業が始まるが、家庭間に差異の出ないよう、周知、指導をされ、児童生徒の教育の公平性に留意されたい。

※1ゴミ分別アプリとは

各ご家庭に配られている「ごみ辞典」をスマートフォンなどの機器で見るとの機能です。

※2モバイルルーターとは

回線工事を行わなくてもインターネットが使用できる通信端末のことです。

学習用モバイルルーターの貸付事業では、貸与は無料ですが、インターネット使用による通信料は保護者負担となります。

**各議員の一般質問の項目**

3月11・12日に、8人の議員が一般質問を行いました。

【第1日目（3月11日）】

◆山浦 登

- ①新型コロナウイルス感染症対策について
- ②一般質問に対する村の答弁と対応について
- ③令和3年度予算について
- ④木島平スキー場と第三セクター木島平観光（株）の冬期の状況と今後について
- ⑤今日の農業情勢と農業経営について

◆丸山 邦久

- ①消防団員の出勤手当と組織編成について
- ②タブレット端末の利用について
- ③スキー場の今後について

◆芳川 修二

- ①令和3年度施政方針について
- ②耕作放棄地対策について
- ③観光振興について

◆勝山 卓

- ①ファームス木島平のビジョンについて
- ②老朽空き家対策について
- ③新型コロナウイルス感染症対策について

【第2日目（3月12日）】

◆土屋喜久夫

- ①2期目後半の施策は、村民をどの方向に導くのか
- ②地方自治における2元代表制について
- ③村民に対するコロナ感染症対策は十分か

◆山崎 栄喜

- ①令和3年度予算（案）について
- ②公共施設個別施設計画の策定と公共施設等総合管理計画の見直しについて
- ③地域プロジェクトマネージャー事業について

◆山本隆樹

- ①地方創生臨時交付金の使い方について
- ②「住みたい田舎」更なる認知度アップを
- ③下高井農林高校の存続について

◆江田 宏子

- ①移住・定住の推進策について
- ②教育行政について
- ③観光行政と村の観光関連組織について

※質問・答弁の要旨は来月（5月号）の議会だよりに掲載します。